

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

(目) 1 常備消防費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,018,875	0	0	0	0	1,018,875

1 常備消防費

(1) 志摩広域消防組合負担金 1,018,875,000 円【地域防災室】

志摩広域消防組合の運営に係る年間経費の内、志摩市が負担する金額を年6回に分けて支出した。

・平成24年度志摩広域消防組合負担金支出明細

第1期	104,589,900 円	第2期	156,884,850 円
第3期	261,474,750 円	第4期	261,474,750 円
第5期	209,179,800 円	第6期	25,270,950 円

(目) 2 非常備消防費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
135,512	2,015	0	12,800	18,627	102,070

1 消防団活動費

(1) 消防団活動一般経費 6,144,887 円【地域防災室】

消防団活動を円滑に実施するための経費を支出した。

・志摩市消防団主要事業

事業名	実施日	実施場所
志摩市消防団入団式	5月27日	磯部生涯学習センター
志摩市総合防災訓練	9月29日	和具漁港
秋季火災予防広報パレード	11月11日	市内全域
年末警戒	12月25日～31日	市内全域
平成25年志摩市消防出初式	1月4日	阿児アリーナ、神明漁港
志摩市消防団「三重県防災航空隊連携訓練」	2月3日	ともやま公園

- ・間崎島からの急病者等の搬送に船舶を出していただいた方へ協力金を支出した。報償費計24,000円(3,000円×8件)
- ・消防署が実施する消火栓等の水利施設の管理を行うための消耗品や団活動に必要な物品等の購入を行った。消耗品費計445,616円
- ・消防団員の消防・水防活動時等において、現場状況に応じ食糧費を支出した。食糧費計946,814円
- ・消防団詰所等の電気代等や消防団無線に関する経費を支出した。計3,628,569円(光熱水費2,317,103円、通信運搬費、電波利用料1,311,466円)
- ・防火水槽等の消防施設を設置する個人の土地に対し、借地料を支出した。件数=25件(防火水槽用地 24件、格納庫用地 1件) 借上料計115,888円

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

(2) 消防団員報酬等経費 75,904,078 円 【地域防災室】

消防団員へ年報酬及び訓練や活動に伴う手当や退職報償金を支給した。

- ・ 団員数 (平成24年4月1日現在)

所属	団本部	志摩	大王	阿児	浜島	磯部	合計
条例定数	20 人	217 人	144 人	255 人	130 人	187 人	953 人
実員数	16 人	182 人	116 人	240 人	127 人	175 人	856 人

- ・ 消防団活動の円滑な運営と情報共有のため各種会議を開催した。
 正副団長会議 2回開催
 団本部会議 6回開催
 各方面隊会議 志摩 = 6回開催、大王 = 12回開催、阿児 = 8回開催、浜島 = 5回開催、磯部 = 4回開催
- ・ 退団した団員に対し退職報償金を支給した。
 平成24年3月31日付け退団 44 人 計 12,113,000 円
 平成24年7月15日付け死亡退団 1 人 308,000 円
- ・ 各種出動に対し手当の支給を行った。

出動種別	件数	延べ人数	単価	支出合計
火災出動	24 件	335 人	-	-
訓練講習等出動	131 件	3,323 人	5,000 円	16,615,000 円
風水害等出動	13 件	1,738 人	3,000 円	5,214,000 円
警備・警戒等出動	8 件	739 人	5,000 円	3,695,000 円

(3) 消防団員公務災害補償経費 20,326,435 円 【地域防災室】

団員活動時におけるケガ等の公務災害補償の負担金と療養補償費の支出を行った。

- ・ 消防団員等公務災害共済基金負担金 計 20,299,729 円
 (内訳: 公務災害補償責任共済 2,002,129 円)
 (退職報償金支給責任共済 18,297,600 円)
- ・ 公務災害補償費支給件数 1 件 26,706 円 (療養補償費)

(4) 消防自動車等管理経費 5,189,114 円 【地域防災室】

消防車両等の維持管理のため、車検費用や修繕料、燃料費等を支出した。

- ・ 平成24年度車検台数 65台中30台実施 (内訳: 普通車20台、軽自動車10台)
- ・ 間崎地区に配備する消防艇の定期点検を実施した。

(5) 消防関係団体補助金 380,000 円 【地域防災室】

市民の防火意識の高揚を図る活動等を行う団体 (2団体) に対し補助を行った。

- ・ 志勢防火協会連合会補助金 300,000 円
 防火ポスターコンクールの実施及び表彰伝達式の開催
 防火だよりの作成及び配布
 火災予防広報パンフレットの作成及び配布

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

- ・ 志摩広域少年婦人防火委員会補助金 80,000 円
 心肺蘇生法及びAED取扱講習の開催 (婦人消防クラブ)
 三重県消防学校一日体験入校の開催 (少年消防クラブ)
 火災予防街頭広報及び防火パトロールの実施 (幼年、少年、婦人消防クラブ)

(6) 消防団備品購入事業 8,332,757 円 【地域防災室】

消防団員の安全確保を図るため、活動服やライフジャケット等を購入した。

- ・ 活動服、消防長靴等 50セット他 1,803,259 円
- ・ ライフジャケット 853 着 2,319,733 円
- ・ 特定小電力トランシーバー 269 台 3,728,340 円
- ・ 消防ホース 35 本 409,500 円
- ・ 管鎗 5 本 48,405 円
- ・ バッテリーチャージャー 1 台 23,520 円

(7) 消防自動車購入事業 13,509,540 円 【地域防災室】

消防力の充実を図るため、消防団積載車配備計画に基づき、消防車両2台を購入した。

- ・ 小型動力ポンプ付普通積載車 1 台 8,208,378 円
 浜島方面隊第7分団(迫子)へ配備
- ・ 小型動力ポンプ付軽積載車 1 台 5,301,162 円
 志摩方面隊第5分団(越賀)へ配備

(8) 消防団員福祉共済事業 5,527,500 円 【地域防災室】

消防団員が公務による死亡や入院等の状況になった場合の遺族援護金や入院見舞金の負担金の支出と支給を行った。

- ・ 福祉共済負担金 4,000円×856人(平成24年4月1日現在団員数) 3,424,000 円
- ・ 団員死亡に伴う遺族援護金の支給 2 件 × 1,000,000 円 2,000,000 円
- ・ 団員入院に伴う見舞金の支給 1 件 103,500 円

(9) 消防出初式開催事業 197,673 円 【地域防災室】

消防出初式を開催し、表彰記念品や駐車場警備の費用を支出した。

- ・ 開催日：平成25年1月4日 式典会場：阿児アリーナ・ベイホール
 一斉放水会場：神明漁港
- ・ 被表彰者に対し、表彰状と表彰記念品として徽章を授与した。
 報償費(徽章代 104個)169,953円

(目)3 消防施設費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,222	0	0	0	0	4,222

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

1 消防施設管理費

(1) 消防団施設管理運営費 2,471,658 円 【地域防災室】

消防関係施設を維持管理していくための経費を支出した。

- ・ 経年劣化や台風等の被害による詰所等の修繕作業を実施した。
施設修繕料計1,036,862円
 - ・ 消防団詰所の電話代を支出した。 通信運搬費計618,151円
 - ・ 消防団詰所のトイレ汲取りや浄化槽の維持管理費用を支出した。 計204,285円
 - ・ 地域の消防施設の充実を図るため、消火栓ボックスやホース等の備品を購入した。
備品購入費計332,850円
- | | | |
|--------------|------|-----------|
| (内訳) 消火栓ボックス | 4 台 | 147,000 円 |
| 消火栓ボックス用ホース | 18 本 | 170,100 円 |
| 消火栓用マルチ金具 | 2 個 | 15,750 円 |

(2) 消火栓管理経費 700,000 円 【地域防災室】

消火栓の維持管理にあたり水道事業者に対し一定額の負担金を支出し、消火栓の布設替を行った。

- ・ 消火栓維持管理負担金 700,000 円
- ・ 横道線消火栓布設替工事 (志摩町越賀・御座地内) 5 基

2 消防施設整備事業費

(1) 消火栓整備事業 1,050,000 円 【地域防災室】

消火栓の整備にあたり水道事業者に対し一定額の負担金を支出し、消火栓の新規設置を行った。

- ・ 消火栓設置工事負担金 1,050,000 円
 - ・ 消火栓新規設置場所 (計4基)
- | | |
|-------------------------|-----|
| 国道167号線賢島橋南西側 (阿児町神明地内) | 1 基 |
| 私道代々木高校南側 (阿児町神明地内) | 1 基 |
| 市道西山線 (阿児町立神地内) | 1 基 |
| 市道迫間向井山線 (磯部町迫間地内) | 1 基 |

(目) 4 災害対策費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
66,493	0	5,954	1,600	4,665	54,274

1 防災対策費

(1) 防災対策一般経費 12,516,045 円 【地域防災室】

災害対策本部設置時や行方不明者捜索にかかる諸経費や、防災業務運営にかかる通信運搬費、防災ヘリコプター運営負担金や三重県防災行政無線運営協議会負担金などの一般事務経費を支出した。

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

災害対策本部設置状況

設置回数合計 9回 配備人員合計 1,294人(消防団員を除く)

搜索活動状況

搜索回数合計 8回 搜索参加延人員合計: 355人(消防団員を除く)

防災業務運営にかかる通信運搬費

区分	月数/台数	金額
地震計用(5箇所)	12か月分	1,047,600円
衛星携帯電話(8台分)		
災害優先・現地対策本部用PCデータ通信料		
災害優先携帯電話(1台)	2台分	
津波避難用設備システム通信費		

三重県防災行政無線運営協議会負担金 3,281,000円

防災ヘリコプター運営負担金 2,412,000円

(2) 防災施設管理運営費 460,345円【地域防災室】

所管の防災施設(迫子防災倉庫、塩屋防災倉庫、片田防災倉庫、間崎防災施設、三ヶ所防災施設の5施設)の施設維持管理に係る光熱水費、需用費、役務費、委託料を支出した。

(3) 防災行政無線管理運営費 30,939,968円【地域防災室】

防災行政無線にかかる維持管理経費やデジタル同報系設備保守点検業務、アナログ再送信設備保守点検業務委託、電波利用料、無線局再免許手数料などを支出した。

防災行政無線維持管理事業

志摩市防災行政無線(デジタル同報系)設備保守点検業務委託

防災行政無線デジタル同報系設備及びアナログ再送信設備の保守点検業務委託料

受注者: 中央電子光学株式会社 三重支店

事業費: 16,537,500円

(内訳) 業務委託費 16,537,500円

電波利用料

親局、拡声子局、中継局、利用者協議会の合計261局分の電波利用料 4,607,025円

無線局再免許手数料

親局、拡声子局、中継局の合計260局分の電波利用料 550,400円

戸別受信機設置調査委託料

戸別受信機電波調査を行い、必要に応じて個人宅にアンテナ類を設置した。

件数: 調査及び調整 146件 アンテナ取付 83件 4,255,125円

情報自動配信装置ASPサーバ使用料 630,000円

防災行政無線設備 落雷対策工事

防災行政無線設備への落雷対策として、落雷経路と推定された電話回線に回線避雷ユニット7台を設置し、緊急時の電源確保強化策として、屋外拡声子局バッテリー5台、情報配信装置 無停電電源装置一式の交換を行った。

受注者: 中央電子光学株式会社 三重支店

工事費: 1,071,000円

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

(4) 災害時備蓄食糧整備事業 2,965,793 円【地域防災室】

三重県地域防災計画被害想定調査結果に基づき、東海地震、東南海・南海地震が同時発生した場合の人的被害を想定し、被災者等の食糧(3日分)の備蓄を進めるため、平成24年度は、備蓄食料16,550食と飲料水1,000Lを備蓄した。

事業内容：災害対策用備蓄食糧購入

アルファ米	5,750 食		
かんぱん	10,800 食		
合計	16,550 食	飲料水	1,000 L

事業費：2,965,793 円

受注者：株式会社 モリ京 代表取締役 森本 勝雄

(5) 災害対策用避難所運営用品購入事業 3,355,311 円【地域防災室】

市指定避難所内に避難所運営用品を備蓄することにより、速やかに避難所を開設し、初動時から避難者の安心・安全を確保する。また、孤立化防止対策として、衛星携帯電話を配備する。平成24年度は、避難所用品としての避難所生活用間仕切り、ストーブ、真空パック毛布と孤立化防止対策用備品として衛星携帯電話・発電機を購入した。

事業内容：災害対策用避難所運営用品購入

番号	品目等	数量	金額	備考
1	避難所生活用間仕切り	20組	619,500円	1組(3畳用：間仕切り10枚、畳0.5畳×6枚)
2	避難所運営用ストーブ	40台	569,661円	
3	災害救助用真空パック毛布	430枚	948,150円	
4	衛星携帯電話・電話充電用発電機	4セット	1,218,000円	発電機はカセットボンベ燃料使用
合計			3,355,311円	

(6) 防災訓練事業 587,886 円【地域防災室】

志摩市地域防災計画に基づき、地域住民の防災意識の高揚と防災力の向上を図るため、また、市職員の災害対応力の向上を図るため、総合防災訓練を実施した。また、国府地区海岸・志島地区海岸津波避難訓練において、志摩コーストガーディアンズが主催する津波災害を想定した避難訓練を実施した。志摩市は訓練参加・協力機関の一つとして事務局の役割を担い、消防団も含めて訓練に参加・協力し、海岸利用者及び地域住民の防災意識の向上と避難対策の確立を図った。この他、市幹部職員を対象とした図上訓練や三重県自主防災リーダー研修会を県等と共催で実施した。

国府地区海岸・志島地区海岸津波避難訓練

日時：平成24年7月29日 午前10:00～12:00

場所：国府地区海岸(国府白浜海岸、阿児の松原海水浴場)、志島地区海岸(市後浜)、国府地内、パークゴルフ場

参加協力機関：

三重大学、三重県、志摩市、志摩市消防団、日本サーフィン連盟(三重、滋賀、京都、奈良、大阪各支部)、三重サーフユニオン、鳥羽警察署、志摩Beautiful Beach Club、志摩アマチュア無線防災支援ネットワーク、鳥羽海上保安部

避難者総数：2,463人

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

総合防災訓練

日 時：平成24年9月29日 午前9:00～12:00

場 所：志摩市志摩町和具 和具漁港 (メイン会場)

参加人数： 8,241 人

(内 訳)メイン会場 300 人

地区分散会場 7,482 人

職員参集訓練 459 人

参加団体：陸上自衛隊第33普通科連隊、鳥羽海上保安部、中部空港海上保安航空基地、三重県防災航空隊、鳥羽警察署、三重県警察本部、志摩広域消防組合、国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所、志摩市消防団、三重県レッカー事業協同組合、イオンリテール株式会社中部カンパニー中南勢事業部、コメリ災害対策センター、志摩アマチュア無線防災支援ネットワーク、社団法人三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、三重県立水産高等学校、志摩市自治会連合会、日本赤十字社三重県支部、三重交通株式会社

市幹部職員図上訓練

詳細は(8)防災技術指導員による職員防災研修・訓練に記載。

三重県自主防災リーダー研修会

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象として、防災に関する知識・技能を習得させ、その役割についての自覚を高め、地域における自主防災活動活性化のために活躍できる人材育成を図るため、財団法人日本防火協会、三重県、志摩市が共催して研修会(防災関連講義、避難所運営ゲーム等)を実施した。

日 時：平成24年12月1日～12月2日

場 所：志摩市磯部生涯学習センター

参加人数： 39 人

(7) 災害時要援護者宅家具固定事業 252,000 円【地域防災室】

災害時要援護者宅の家具固定を行うことにより、災害時要援護者宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震発災時の人的被害を軽減するため、満65歳以上高齢者のみの世帯、障がい者のみの世帯、知的障がい者のみの世帯について公募した36世帯について、1世帯あたり3台までの家具固定事業を行った。

事業内容： 公募した災害時要援護者宅の家具固定を行った。 実施件数 36件

事業費： 252,000 円

受注者： 三重県建設労働組合 志摩支部

(8) 防災技術指導員配置事業 3,168,800 円【地域防災室】

近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大災害に備えるため、防災知識・防災対策など経験豊富な人材を防災技術指導員として配置し、各種防災訓練への技術指導、ハザードマップ見直しに伴うワークショップの実施、職員への防災研修、市民対象の防災講演会、広報の原稿作成など防災に関する普及啓発業務を実施した。

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

防災技術指導員による職員防災研修・訓練

日時	内容	対象	参加人数
4月23日	学校等教職員防災担当者研修会	学校等教職員防災担当者	37人
5月17日	市幹部職員図上訓練	課長級以上の幹部職員	36人
7月13日	市幹部職員図上訓練	課長級以上の幹部職員	9人
8月3日(午前)	市職員防災研修	市職員全般	106人
8月3日(午後)	市職員防災研修	市職員全般	123人
8月6日(午前)	市職員防災研修	市職員全般	71人
8月6日(午後)	市職員防災研修	市職員全般	101人
実施回数	7回	参加人数合計	483人

防災技術指導員による市民等への防災講演会

期間	実施回数	講演時間合計	参加人数合計
平成24年4月23日～平成25年3月27日	31回	2,000分 (33時間20分)	3,168人

(9) 衛星系防災行政無線更新事業 3,707,175 円【地域防災室】

三重県衛星系防災行政無線設備の老朽化や情報の多様化・大容量化に対応する必要があり、次世代機器への更新及び県関係機関等へ災害時の情報伝達手段として整備し、防災力向上を図るため、三重県へ事業に係る志摩市分の負担金を支出した。

(10) 防災ハザードマップ作成事業 2,572,352 円【地域防災室】

東日本大震災後、三重県や国から南海トラフ大地震に関する津波浸水想定等が公表された。これを受けて新たな浸水想定に基づく防災ハザードマップ作成のため、地区毎に説明会を開催し、地区要望があれば防災タウンウォッチングも実施しながら協議を重ねてマップを作成した。

事業内容：

防災ハザードマップ地区別説明会	29回	参加人員	918人
防災タウンウォッチング	7回	参加人員	239人

成果品

- ・地区別マップ40種類 計38,590枚
(近接した地区は数地区をまとめて1枚のマップに仕上げた。)
- ・旧町別マップ5種類 計1,000枚
- ・志摩市全域版(冊子タイプ 旧町別マップ+防災啓発記事) 計25,000冊

事業費： 2,572,352円

(内訳) 印刷製本費 2,356,200円

消耗品費 216,152円

印刷受注者：株式会社 中央印刷 代表取締役 田中 愛偕

(款)8 消防費 (項)1 消防費

施策の成果及び執行実績

(11) 地域防災組織育成助成事業 1,100,000 円【地域防災室】

三重県を通じて財団法人自治総合センターが行う助成事業に応募していた、志島自治会の防災用資機材の整備事業が採択された。これにより、発電機、災害救助用工具等の整備を行った。

事業費： 1,100,000 円（財団法人自治総合センターの100%助成）

対象者： 志島自治会

2 防災基盤整備事業費

(1) 津波避難対策整備事業 2,153,288 円【地域防災室】

津波浸水区域に隣接し、500m以内の距離に設置する津波避難路及びその周辺の安全性並びに避難体制を確保するため、避難誘導標識の設置や津波避難路整備工事の施工、避難路誘導用道路鋸を購入し、自治会へ配布した。

事業内容：

区 分	内 容	金 額
避難誘導標識設置業務委託	市内2箇所津波一時避難場所誘導看板を設置した。	136,500円
津波避難路整備工事	市内6箇所の津波避難路について、手摺設置工事や法面保護工事を行った。	1,386,525円
避難誘導用原材料購入	避難路誘導用道路鋸(自発光縁石鋸)100個と設置用ボンド20セットを購入し、市内自治会に配布した。	630,263円
合	計	2,153,288円

(2) 国府地区避難施設整備事業 2,713,939 円【地域防災室】

志摩市阿児町国府地内に防災施設（災害避難所兼防災倉庫）鉄骨造平屋建て、延床面積134.14㎡を建築する。平成24年度は用地の不動産鑑定業務、用地測量業務及び実施設計業務を実施した。

事業費： 2,713,939 円（この内、測量設計業務委託費 2,699,539円、残額は事務費）

測量設計業務別受注者と契約金額等：

（実施設計業務）	阪本建築設計事務所	1,995,000円
（用地測量業務）	三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	526,039円
（不動産鑑定業務）	榊田不動産鑑定所	178,500円
	合計	2,699,539円